
明窓十句

今瀬剛一選

力石しつとり濡らし花の雨	薄氷の少し流れてつかへけり	ひと恋ふは哀しきものとさくら貝	花辛夷熊野は雨の粗き国	仏飯の湯気ふんはりと牡丹雪	顔あげて仕切り直しや黄水仙	先生の見える安心野に遊ぶ	あぢさゐの低き枝より芽吹き初む	春の雪東京駅を輝かせ	まんさくや火を止めてなほ粥煮ゆる
岡崎	御園	小松	市川	江森	平間	岡本	馳	伊藤	牧長
桂子	祐三	道子	十二代	好江	裕子	優子	修子	美津子	幸子